

コンゴ民主共和国：ブンドゥ・ディア・コンゴ (BDK) に関する情報

コンゴ民主共和国の「ブンドゥ・ディア・コンゴ (BDK) の指導者・教義内容・活動・組織構成；BDK とキリスト教との関係；2017年2月上旬のバコンゴ州（現コンゴ中央州）での BDK 集会およびその後のキンシャサの BDK 拠点等への当局の介入」に関する調査依頼に対し、難民研究フォーラムが規定の時間的制約の中で調査したところ、関連しうる情報として以下の情報が見つかりました。

| | |
|--|----|
| 略称： | 1 |
| 1. BDK の指導者、教義内容、活動、構成など | 2 |
| (1) 組織の概要 | 2 |
| (2) 組織の指導者、政治的な目的、教義の内容、活動 | 3 |
| (3) 組織構成 | 6 |
| 2. BDK とキリスト教の関係 | 8 |
| 3. 2017年2月上旬のバコンゴ州（現コンゴ中央州）での BDK 集会およびその後のキンシャサの BDK 拠点等への当局の介入 | 9 |
| 4. 2017年1月から2月7日頃までのバコンゴ州の状況 | 12 |
| 参照： | 14 |

略称：

| | |
|-------|--|
| ACLED | 武力紛争発生地・事件データプロジェクト [Armed Conflict Location & Event Data Project] |
| BAMF | ドイツ連邦移民難民庁 [Bundesamt für Migration und Flüchtlinge] |
| BDK | ブンドゥ・ディア・コンゴ [Bundu dia Kongo] |
| BDM | ブンドゥ・ディア・マヤラ [Bundu dia Mayala] |
| IRBC | カナダ移民難民局 [Immigration and Refugee Board of Canada] |
| CGRS | ベルギー難民・無国籍者弁務官事務所資料研究センター [Commissariat général aux réfugiés et aux apatrides] |
| RFI | ラジオ・フランス・インターナショナル [Radio France internationale] |

1. BDKの指導者、教義内容、活動、構成など

(1) 組織の概要

ア [IRBC「クエリー回答 \[COD103713.FE\]: コンゴ民主共和国: 「ブンドゥ・ディア・コンゴ \(BDK\) 運動に関する情報 \(政治的プログラム、事務所の所在地、構成員数、その他の政党との関係、指導部及び構成員に対する政府当局の姿勢を含む\) \(2007年~2011年4月\)」 refworld \(2011年4月6日\)](#)

1986年にネ・ムアンダ・ンセミ [Ne Muanda Nsemi] によって設立されたブンドゥ・ディア・コンゴ (BDK) 運動は (ヒューマン・ライツ・ウォッチ、2008年11月25日; BDK、2007年日付不詳)、自らを「グローバルなビジョンを持った宗教グループ」[訳] (訳注: 科学、宗教、政治の分野で活動している) と表現している (同上)。しかし、国連の報告書によると、BDKは1969年に設立された (2008年5月、パラ24)。キコンゴ語で「ブンドゥ・ディア・コンゴ」とは、「アコンゴ神との連合」[訳] を意味する (BDK、2009年3月15日)。

イ [IRBC「クエリー回答 \[COD106125.FE\]: コンゴ民主共和国: ブンドゥ・ディア・コンゴ \(BDK\) 運動の政治的目標、構造、事務所、メンバーに発行される文書等; 政府及びその他の政党との関係; 当局によるメンバーの取扱い \(2016年~2018年7月\)」 refworld \(2018年7月20日\)](#)

1. BDK 運動

BDKは様々な情報源によって、「政治的・宗教的な結社」[訳] (2018年1月30日付けVOAAfrique; 2017年8月7日付けRFI) または「政治的・神秘的・宗教的な組織」[訳] (2017年2月14日付けRFI) と表現されているほか、分離主義者 (2017年2月14日付けRFI) または分離主義グループ (2017年2月16日付けIBTimes) とも表現されている。複数の情報源によれば、ブンドゥ・ディア・コンゴという表現は、キコンゴ語で「バコンゴ人の連合」[訳] (2017年8月7日付けRFI) または「コンゴ王国」[訳] を意味する (2017年2月16日付けIBTimes)。ニューヨークに本部を置く国際的なニュースポータルであるインターナショナル・ビジネス・タイムズ (IBTimes) の英国版記事によると、当該組織のリーダーは、「一般的に単一の民族的である」コンゴ中央地域の独立性を高めるような運動を行っている (2017年2月16日付けIBTimes)。インターナショナル・クライシス・グループによると、民族的な動員はBDKが構成員を動員する手法のひとつである (2017年12月4日付けインターナショナル・クライシス・グループ、18頁)。複数の情報源は、コンゴ中央州 (旧バコンゴ州) をBDKの拠点としている (2018年3月22日付けIFRI; 2018年2月1日付けLe Potentiel)。BDKの信者をメケサ [makesa] と呼ぶ情報源もある (2017年8月19日付けJeune Afrique; 2017年2月16日付けADIAC)。…。

…

ウ イギリス内務省「[出身国情報・主要な情報文書 コンゴ民主共和国 \(法務省仮訳\)](#)」入管庁ウェブ (2007年2月14日) ※ [原文英語 \(refworld\)](#)

Bundu Dia Kongo

21.05 国連の統合地域情報ネットワーク(IRIN)の2002年7月26日付けの報告書は、Bundu dia Kongo(BDK)(コンゴ族の王国)がバス-コンゴ州(キンシャサの西)を中心とする国粋主義的な政治-宗教団体であり、バス-コンゴ地域のコンゴ民主共和国からの独立を求める運動をおこなってきたと述べている。報告書は次のように続けている:「Bundu dia Kongoの信者は過去にコンゴ民主共和国のリーダーだった故モブツ・セセ・セコとその後継者の故ローレントデジレ・カピラの対して抗議していた。こうした抗議は時には武装した信者の死という結果を招いた」[18a]

...

21.11 2006年3月8日に公表されたアメリカ国務省の2005年の人権に関する国別報告書は、次のように報告している:「2005年、政府が宗教団体を活動停止にしたり解散させたりしたという報告は1つもなかった。しかし、民族を基盤とした精神的、政治的な運動団体で、政府の暴力的な転覆とバコンゴ族のための「民族的に純粋な」王国の樹立を主張している Bundu dia Kongo は、2005年の全体を通して非合法化されていた」[3h](2c)

21.12 アメリカ国務省の2006年の世界の宗教の自由に関する報告書は、Bundu dia Kongoがその分離主義的な政治的目標を理由に依然として非合法化されていると確認している。[3c](セクション2)

21.13 2007年2月、Bundu dia Kongoの運動の支持者たちはバス-コンゴ州の3つの町で治安部隊と衝突した。彼らは州知事選挙の結果に抗議していた。国連は、この暴力の結果として、治安部隊の兵士を含めて134人が命を失ったと推定している。[15cg][65bc][105d]

エ CGRS「[COI フォーカス - コンゴ民主共和国 : 政治的な状況](#)」ecoi (2019年12月17日)

1.1.6. ブンドゥ・ディア・マヤラ (BDM)

2008年に自身の宗教運動「ブンドゥ・ディア・コンゴ」が禁止されたことを受け、リーダーのムアンダ・ンセミ [Muanda Nsemi] は2009年に「ブンドゥ・ディア・マヤラ (BDM)」という名称の政党の設立を決定した。BDMは2015年10月に正式に認証された。

...

(2) 組織の指導者、政治的な目的、教義の内容、活動

ア 東京地方裁判所平成27年8月28日判決 [平成25(行ウ)237ほか]

(ア) BDK の概要と活動

BDK は、ネ・ムアンダ・ンセミ師 [...] がコンゴ独立後間もない 1969 年 (昭和 44 年) 頃に創始した宗教運動である。BDK は、白人支配以前のバコンゴ (Bakongo) 族によるかつてのコンゴ王国の復活を目指し、バ・コンゴ (Bas Kongo) 州の独立ないし自治権拡大を唱導した。その信者 (支持者) は、同州を中心に次第に拡大し、政党化してモブツ大統領に抗議活動を行うなどした。BDK は、続くローラン＝デジレ・カビラ大統領に対しても抗議活動をした。 [...]

イ IRBC「[クエリー回答 \[COD106125.FE\] : コンゴ民主共和国 : Bundu dia Kongo \(BDK\) 運動の政治的目標、構造、事務所、メンバーに発行される文書等 ; 政府及びその他の政党との関係 ; 当局によるメンバーの取扱い \(2016 年～2018 年 7 月\)](#)」refworld (2018 年 7 月 20 日)

1.2 政治的な目的

情報源によると、BDK の主な目的は、古代コンゴ王国の復活である (2017 年 2 月 16 日付け IBTimes ; 2017 年 5 月 18 日付け BBC)。ラジオ・フランス・インターナショナル [Radio France internationale] (RFI) は、BDK の目的には 2 つの構成要素があると説明している。それらは、「植民地主義によってつくられた国境の撤廃」と「偉大な祖先らの精神的・歴史的な遺産の復興」であり、「民族性に根ざした広い連邦制」に分類される (2017 年 2 月 14 日付け RFI)。

OHCHR と MONUSCO は、BDK/BDM がコンゴ民主共和国からルワンダ人を「追放すること」[訳] を欲していると指摘している (2018 年 3 月、国連、5)。国連安全保障理事会の報告書は、BDK/BDM の指導者が「ルワンダ人」[国連英語版] に対する暴力を扇動したと記載する中、それがネ・ムアンダ・ンセミが「フツおよびツチのコミュニティ出身のキニヤルワンダ語話者」と呼びものであると説明している (国連、2017 年 9 月 29 日、パラ 30)。

複数の情報筋によると、BDK/BDM はジョセフ・カビラ大統領が権力を維持することに反対している (国連、2018 年 3 月、パラ 7 ; 2018 年 1 月 30 日付け VOA Afrique)。

1.3 指導者

BDK の指導者は、ネ・ムアンダ・ンセミ [Ne Muanda [Mwanda] Nsemi] である (ADIAC、2018 年 4 月 4 日 ; 2017 年 2 月 16 日付け IBTimes ; 2017 年 2 月 14 日付け RFI)。同人は創始者でもある (2017 年 5 月 18 日付け BBC ; 2017 年 2 月 14 日付け RFI)。複数の情報源によると、ネ・ムアンダ・ンセミは BDM の指導者でもある (2017 年 2 月 14 日付け RFI ; BDM、日付不詳)。BDM のウェブサイトは、ネ・ムアンダ・ンセミは BDK の「最高指導者」[訳] であり、BDM の「全国代表」であるとしている (BDM、日付不詳)。複数の情報源によれば、同人は 2006 年に国会議員に選出され (2018 年 3 月 23 日付け IFRI ; 2017 年 5 月 18 日付け BBC)、

2011年にも選出された(2018年3月23日付け IFRI)。Jeune Afrique は2017年8月、同人がキンシャサのフナ [Funa] 地区選出の国会議員であると言及した(2017年8月19日付け Jeune Afrique)。

...

ウ [IRBC「クエリー回答 \[COD103713.FE\]: コンゴ民主共和国: 「ブンドゥ・ディア・コンゴ \(BDK\) 運動に関する情報 \(政治的プログラム、事務所の所在地、構成員数、その他の政党との関係、指導部及び構成員に対する政府当局の姿勢を含む\) \(2007年~2011年4月\)」](#) refworld (2011年4月6日)

政治的なプログラムとイデオロギー

2つの情報源によると、BDKはバコンゴ州の独立性を高めるために戦っている(米国、2010年3月11日、セクション1.a; ヒューマン・ライツ・ウォッチ、2009年1月)。ヒューマン・ライツ・ウォッチが2008年11月25日に発表した報告書によると、BDKは「真のアフリカへの回帰」を提唱しており、その教えの基礎となっているのは、ネ・ムアンダ・ンセミ [Ne Muanda Nsemi] が「その人々の霊 [spirits of its people]」から啓示を受けたビジョンである。国連コンゴ民主共和国安定化ミッション (MONUC) の人権部門と国連人権高等弁務官事務所 (UNHCR) が発表した2008年2月と3月のバコンゴ州での出来事を調査した報告書によると、BDKの目的は次のことを促進することだと説明している。

[国際連合 (UN) による英語版]

アフリカの人々とその精神的・文化的・道徳的・社会的な価値の「再興」;
コンゴ王国として BDK が定義した地理的地域の資源の再利用と王国の人々の再統合; および、
コンゴの人々が政治的、経済的な運命をもっと自ら制御できるような分散型の政治・行政システムの確立。(国連、2008年5月、パラ24)

同報告書は、植民地化される前、この王国は、バコンゴの州ほか、飛び地のカビンダを含むコンゴ共和国、ガボン、バンドゥンドゥおよびアンゴラの一部を包含していた(同上、8)。

エ [IRBC「クエリー回答 \[RDC38392.E\]: コンゴ民主共和国: 「ブンドゥ・ディア・コンゴ」 \(BDK\) \(別名「コンゴ民族連盟」\) と呼ばれる民族主義政党に関する情報 \(指導部、目的、活動、構成員および関係者の政府当局による取扱い \(1999年~2001年\)\)」](#) refworld (2002年2月1日) (2002年2月1日)

複数の情報源は、ブンドゥ・ディア・コンゴ (BDK) について、「コンゴ人の原理主義的な宗教運動」(聖公会教会神学校、2001年11月30日)、「教団」(国際連合、2000年9月20日)、「教会」(ASADHO、2000年)、「非キリスト教系の新しい宗教運動」(Bernhard、1997年)と記載している。

オ イギリス内務省「[出身国情報・主要な情報文書 コンゴ民主共和国 \(法務省仮訳\)](#)」入管庁ウェブ (2007 年 2 月 14 日)

21.06 IRIN の報告書は続けて次のように述べている :

「Bundu dia Kongo は、信者が西側と東側の宗教を否定しており、時にはそれらの宗教に暴力行為を犯させるように仕向けてきたと主張している。Bundu dia Kongo は、現在のアンゴラ、コンゴ民主共和国、ガボンの一部を取り囲む植民地時代の前の境界に、古代のコンゴ族の王国を再建しようとしている。王国の中心地は現在のコンゴ民主共和国のバス-コンゴ州と隣のバンデユンデュ州にあった」 [18a]

21.07 カナダ移民難民委員会(IRB)の 2003 年 10 月 15 日付けの情報回答書も、次のように述べている :

「Yabili[ウェブサイト][翻訳]によると、‘Kongo Dieto’[情報源[24b](p15)では、キンシャサで印刷される情報シートで、発行頻度は必要に応じてばらつきがあると説明されている]に掲載されている Bundu dia Kongo (Bdk)の教義は、さまざまな思想のごた混ぜである。宗教、哲学、純粋科学、歴史、地理、政治学を含んでいる。これは、世界中の黒人種族から選ばれた民である Bkongo に合わせて形作られている。メンバーは、コンゴ民主共和国が単一国民ではなく、多様で、時には対照的な文化をもった異質なグループで構成されていると確信している。これが、彼らが分離主義とは何の関係もない、民族をもとにした連邦制を求めている理由である(2003 年 4 月 6 日)」 [43h]

カ ブンドゥ・ディア・コンゴ、[ウェブサイト/web.archive.org \(2020 年 8 月 11 日時点\)](#) (2021 年 10 月 27 日閲覧)

ウェブページ情報をアーカイブしている web.archive.org で BDK ウェブサイトの URL (<http://bundu-dia-kongo.org>) を検索したところ、2020 年 8 月 11 日時点の BDK ウェブサイトの次の記載がありました。

ブンドゥ・ディア・コンゴは宗教ではなく、精神的な入門、教導及び実践の学校です。

なお、BDK のウェブサイトは、2021 年 10 月 27 日時点で閲覧できませんでした。

(3) 組織構成

ア IRBC「[クエリー回答 \[COD106125.FE\] : コンゴ民主共和国 : ブンドゥ・ディア・コンゴ \(BDK\) 運動の政治的目標、構造、事務所、メンバーに発行される文書等 ; 政府及びその他の政党との関係 ; 当局によるメンバーの取扱い \(2016 年~2018 年 7 月\)](#)」_refworld (2018 年 7 月 20 日)

1.1 ブンドゥ・ディア・マヤラ (BDM) 党

複数の情報源によると、BDK は禁止または解散させられた後の 2009 年または 2010 年、BDM 政党に再構成された (2017 年 5 月 18 日付け BBC ; 国連、2018 年 3 月、5)。国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR) と国連機関コンゴ民主共和国安定化ミッション (MONUSCO) は、政府が 2011 年の選挙前に BDM の承認を撤回し、2015 年に承認を復活させたと言及している (国連、2018 年 3 月、5)。フランス国際関係研究所 [Institut français des relations internationales] (IFRI) は、「BDK は (BDM の) 宗教的な支部」[訳] であり、「実際に、BDK と BDM を区別することは難しい (おそらくその必要もない)」と述べている (IFRI、2018 年 3 月、23)。

...

1.4 事務所

BDK のウェブサイトは、同運動の本部はコンゴ民主共和国にあり、アフリカや世界各地にアカデミーやジクア [zikua] (入門・実践・精神的教導センター) があるとしている (BDK、日付不詳)。同情報源は、イギリスのバーミンガムとロンドンにあるジクアについても言及している (BDK、日付不詳)。

...

イ [IRBC「クエリー回答 \[COD103713.FE\]: コンゴ民主共和国: 「ブンドゥ・ディア・コンゴ」\(BDK\) 運動に関する情報 \(政治的プログラム、事務所の所在地、構成員数、その他の政党との関係、指導部及び構成員に対する政府当局の姿勢を含む\) \(2007 年~2011 年 4 月\)」](#) refworld (2011 年 4 月 6 日)

構成員数および事務所の所在地

バコンゴ州の事件に関する国連報告書によると、BDK には「数千 [thousands] 人の構成員」[国連英語版] がおり、そのほとんどがバコンゴ州に居住している (同報告書、パラ 24)。また、2007 年 2 月 1 日に Afrik.com が掲載した記事によると、BDK には「数千人 [thousands] の信者」[訳] がおり、主にバコンゴ州、キンシャサ、バンドゥンドゥで活動しているという。

BDK のウェブサイトは、同運動の事務所がキンシャサ、ブラザビル、ルアンダ、アンゴラおよびロンドンにあるとしている (BDK、日付不詳)。

ウ イギリス内務省「[出身国情報・主要な情報文書 コンゴ民主共和国 \(法務省仮訳\)](#)」入管庁ウェブ (2007 年 2 月 14 日) [※ 原文英語 \(refworld\)](#)

21.08 ベルギーの難民無国籍者総合委員会(CEDOCA)の 2003 年 12 月のコンゴ民主共和国に関する事実調査報告書は、創設、哲学、構成、リーダーシップ、新しいメンバーの条件と訓練、標章、メンバーカード、規約、および 2002 年 7 月の出来事とその後の出来事を含め、この宗派を詳述している。[24b]

21.09 CEDOCA の報告書は、この組織の基本哲学はコンゴ族の先祖伝来の伝統の

良い面を助長することであると述べている。[24b](p7)2003年の時点の運営委員会は、最高責任者 Ne Muanda Nsemi、事務長 Malozi ma Mpanza、秘書(氏名不詳)、財務担当で構成されていた。2003年には本部がキンシャサにあった。[24b](p8)

21.10 CEDOCA は、メンバーカードについて次のように報告している：

「メンバーカードは、BDK という文字とこの組織の標章が入った黄色いカードで、コンゴ語でメンバーカードという意味の KALATI KIA KESA が記載されている。このカードはコンゴ語で書かれている(フランス語の単語は1つもない)。カードにはメンバーの写真が入っている。注意：2002年7月の出来事以来、カードは一切発行されていない。実際、2002年7月の事件の際、学校と zikua の大半が兵士による略奪を受けた。その時にメンバーカードが散らばっているのが発見され、その後、それらが一定の人たちに利用されて偽のメンバーに売られた。これが、BDK が新しいデザインを作成した理由である(しかし、新デザインのカードはまだ発行されていない)。こうした状況にあって、Ne Muanda Nsemi はさまざまな収容所当局に書簡を送り、BDK の偽のメンバーが本物のメンバーカードを作る恐れがあると警告した。このメンバーカードのほかに青い加入カードがある。このカードはメンバーカードに似ているが、KIMBANGI KIA KESA(払い込みの証拠)という言葉が入っている」 [24b](p18-19)

エ [IRBC「クエリー回答 \[RDC38392.E\] : コンゴ民主共和国 : 「ブンドゥ・ディア・コンゴ」 \(BDK\) \(別名「コンゴ民族連盟」\) と呼ばれる民族主義政党に関する情報 \(指導部、目的、活動、構成員および関係者の政府当局による取扱い \(1999年~2001年\)\)」 refworld \(2002年2月1日\) \(2002年2月1日\)](#)

以下の文書では、2000年頃のBDKの指導者らの名前が言及されている。

バ・コンゴの人民を反乱に扇動し (VSV、2000年1月-2月-3月-4月)、国家の安全保障を脅かした罪状で、ネ・ムアンダ・ンセミ [Ne Muanda Nsemi] (BDKの精神指導者)、ンドンベ・バスキニナオ [Ndombe Basu-Kininawo]、マロジ・マ・ムパンズ [Malozi Ma Mpanzu]、ンピングル [Mpingulu] およびプアチ・ンゴマ [Puati Ngoma] が首都キンシャサに連行され、ANR (国家情報機関) のレメラ [Lemera] 刑務所で過酷な状況下で身柄拘束された (VSV、2000年1月-2月-3月-4月；ASADHO、日付不詳)。同人らは2000年3月10日に解放された (同上)。

2. BDK とキリスト教の関係

ア [IRBC「クエリー回答 \[RDC38392.E\] : コンゴ民主共和国 : 「ブンドゥ・ディア・コンゴ」 \(BDK\) \(別名「コンゴ民族連盟」\) と呼ばれる民族主義政党に関する情報 \(指導部、目的、活動、構成員および関係者の政府当局による取扱い \(1999年~2001年\)\)」 refworld \(2002年2月1日\) \(2002年2月1日\)](#)

複数の情報源は、ブンドゥ・ディア・コンゴ (BDK) について、「コンゴ人の原理主義的な宗教運動」(聖公会教会神学校、2001年11月30日)、「教団」(国際連

合、2000年9月20日)、「教会」(ASADHO、2000年)、「非キリスト教系の新しい宗教運動」(Bernhard、1997年)と記載している。

※ 前掲

イ イギリス内務省「[出身国情報・主要な情報文書 コンゴ民主共和国 \(法務省仮訳\)](#)」入管庁ウェブ (2007年2月14日) ※ [原文英語 \(refworld\)](#)

21.06 IRIN の報告書は続けて次のように述べている :

「Bundu dia Kongo は、信者が西側と東側の宗教を否定しており、時にはそれらの宗教に暴力行為を犯させるように仕向けてきたと主張している。Bundu dia Kongo は、現在のアンゴラ、コンゴ民主共和国、ガボンの一部を取り囲む植民地時代の前の境界に、古代のコンゴ族の王国を再建しようとしている。王国の中心地は現在のコンゴ民主共和国のバス-コンゴ州と隣のバンデユンデュ州にあった」 [18a]

21.07 カナダ移民難民委員会(IRB)の2003年10月15日付けの情報回答書も、次のように述べている :

「Yabili[ウェブサイト][翻訳]によると、‘Kongo Dieto’[情報源[24b](p15)では、キンシャサで印刷される情報シートで、発行頻度は必要に応じてばらつきがあると説明されている]に掲載されている Bundu dia Kongo (Bdk)の教義は、さまざまな思想のごた混ぜである。宗教、哲学、純粋科学、歴史、地理、政治学を含んでいる。これは、世界中の黒人種族から選ばれた民である Bkongo に合わせて形作られている。メンバーは、コンゴ民主共和国が単一国民ではなく、多様で、時には対照的な文化をもった異質なグループで構成されていると確信している。これが、彼らが分離主義とは何の関係もない、民族をもとにした連邦制を求めている理由である(2003年4月6日)」 [43h]

3. 2017年2月上旬のバコンゴ州 (現コンゴ中央州) での BDK 集会およびその後のキンシャサの BDK 拠点等への当局の介入

ア ACLED「[紛争トレンド報告 56号;アフリカの政治的暴力の即時分析](#)」ecoi(2017年3月)

コンゴ民主共和国

…その他の地域では、2017年に入ってから、コンゴ政府治安部隊とバコンゴ州に拠点を置く政治宗教団体「ブンドゥ・ディア・コンゴ (BDK)」との間で、多数の衝突が報告されている。BDKは、2008年3月に禁止されたが、その前年に発生した衝突では、警察が過剰な力を行使したとして国連から非難されていた。最近の2ヶ月間の衝突では、BDKのメンバーを中心に数十人が死亡し、3月3日にはその指導者が逮捕された。…

イ ACLED「[紛争トレンド報告 59 号;アフリカの政治的暴力の即時分析](#)」ecoi (2017 年 6 月)

…それ以降、2017 年 1 月下旬にキンペセ [Kimpese] 地区で殺害されたとされるリーダー 1 人の遺体を警察関係者が返還するのを拒否したことから BDK メンバーと警察との間で衝突が発生するまで、ACLED の記録には登場していなかった (2017 年 2 月 3 日付け Radio Okapi)。これらの衝突の後、2 月中旬、警察はキンシャサのマ・カンパーニュ [Ma Campagne] 地区にある BDK の指導者であるネ・ムアンダ・ンセミ [Ne Muanda Nsemi] の自宅を包囲し、その結果、同人の支持者らとの間で 2 週間にわたる小戦闘が繰り返され、その間に少なくとも 6 人の BDK メンバーが殺害されたが、警察は同人の降伏の交渉に成功しました (2017 年 3 月 4 日付けロイター)。

この逮捕以降、BDK の活動は 2017 年 5 月中旬に多数の BDK 支持者らがキンシャサのマカラ刑務所を攻撃するまで完全に落ち込んでいた。この攻撃では、少なくとも指導者ンセミを含む 50 人の受刑者が、数千人という情報もあるが (2017 年 5 月 19 日付け New York Times)、BDK メンバーらによってマカラ刑務所から解放された。また、この暴力で数十人から 100 人もの人々が死亡したとの報道もあった (2017 年 5 月 18 日付け BBC)。KN 紛争が少なくとも当面は沈静化されたように見える中、BDK が仕組んだ今回の脱獄劇は、新たな反政府紛争が発生する危険な可能性を秘めている。

ウ BAMF「[第 22 群 - 難民移民情報センター短報](#)」refworld (2017 年 5 月 22 日)

脱獄事件: 2017 年 5 月 17 日早朝、マカラ刑務所から 4,000 人が逃走した。ブンドゥ・ディア・マラヤ (BDM) の支援者と疑われる約 50 人がキンシャサのマカラ中央刑務所を攻撃し、彼らの指導者ネ・ムアンダ・ンセミ (国会議員) を解放した。この出来事で、全 7,000~8,000 人の受刑者のうちの約 4,000 人が逃走した。武装したンセミの信奉者らと警察の間の 3 週間の睨み合いの末、ンセミの住居は完全に破壊され、2017 年 3 月 3 日、ンセミは、国家元首を侮辱したこと、民族的な憎悪を扇動したこと、拉致を行ったことや、違法に武器を所持したことを理由に逮捕されていた。2017 年 1 月と 2 月には、警察と BDM 支持者らの間で既に暴力的な衝突が発生しており、数人の犠牲者が出ていた。ンセミは自己流の預言者であり、「ブンドゥ・ディア・コンゴ (BDK)」という教団を率いている。同教団は、2008 年に違法とされ、その政治部門が 2009 年に同人により設立された BDM 党である。ンセミの支持者らは、現在のコンゴ民主共和国のコンゴ中央州のほか、アンゴラの一部、ガボンおよびコンゴ共和国の一部にまたがっていた前植民地時代のコンゴ王国の復活を目指している。

エ オランダ外務省「[コンゴ民主共和国の政治的状況変化と治安状況に関するテーマ別公式報告](#)」ecoi (2017 年 10 月 17 日)

BDK 指導者の立てこもり

2017年2月13日、治安部隊がキンシャサのネ・ムアンダ・ンセミ [Ne Mwanda Nsemi] の建設中の自宅への侵入を試みた。そこには約30人のBDK支持者らが立てこもっていた。その後の小競り合いで、催涙ガスが使用され、警告弾が発砲されたが、少なくとも2人が殺害された。この1週間前、ネ・ムアンダ・ンセミはカビラに対し、権力の座から退陣するように要求していた。ネ・ムアンダ・ンセミは、カビラ大統領の国籍に疑問を投げかけ、コンゴ中央州から州外出身者が出ていくように要求した。当局は、同人に投降を要求し、同人と共に立てこもっている子どもと年配者らに立ち去るように命令した。2017年3月3日、機動警察が住民らにさらに攻撃をしたが、数百人の支持者らがそこに立てこもっていた。

この作戦で4人が殺害された。6時間後、ンセミは逮捕され、支持者ら307人が投降した。

オ IRBC「[クエリー回答 \[COD106125.FE\] : コンゴ民主共和国 : Bundu dia Kongo \(BDK\) 運動の政治的目標、構造、事務所、メンバーに発行される文書等 ; 政府及びその他の政党との関係 ; 当局によるメンバーの取扱い \(2016年~2018年7月\)](#)」 [refworld](#) (2018年7月20日)

国際人権連盟 (Fédération internationale des ligues des droits de l'homme、FIDH) によると、コンゴ中部では2016年以降、BDMと当局の間の緊張が相当に高まっている (2017年12月23日付け FIDH)。RFIによると、BDK/BDMの説法は、[2016年末の] 新政権樹立時に副大臣指名を1人しか得られなかったことで、「急激に」変化した (2017年8月7日付け RFI)。複数の情報源によれば、ネ・ムアンダ・ンセミ [Ne Muanda Nsemi] はその後、ジョセフ・カビラに対する言葉による攻撃と反乱の呼びかけを再開した (2017年8月7日付け RFI ; 2017年2月16日付け IBTimes)。

2017年の初め、BDKはコンゴ中央州 (2017年3月11日付け ACLED ; 2017年2月16日付け IBTimes) およびキンシャサ (2017年2月16日付け IBTimes) で治安部隊と衝突した。国連の報告によると、2017年1月、BDM、国家警察およびコンゴ民主共和国軍 (Forces armées de la RDC、FARDC) の間で衝突があり、BDMの支持者とみられる2人と警察官1人が死亡した (国連、2017年3月10日、パラ24)。

複数の情報源によれば、2017年2月、コンゴ警察はキンシャサのネ・ムアンダ・ンセミの自宅を2週間にわたって包囲し (2017年9月4日付け国連、パラ15 ; 2017年5月18日付け BBC ; 2017年3月4日付けロイター)、BDKの支持者らと衝突した (2017年3月4日付けロイター)。国連によると、当局はBDKのリーダーを扇動罪で告発した (2017年3月10日付け国連、パラ24)。また、RFIによると、BDKは同国の西部で騒動を引き起こしたとして非難された (2017年2月14日付け RFI)。国連は、BDMの構成員2人が殺害され、多数の民間人が負傷し、そして、22人が逮捕されたと報告している (2017年3月10日付け国連、パラ24)。

ロイターによると、少なくとも BDK 構成員 6 人が殺害された (2017 年 3 月 4 日付けロイター)。武力紛争発生地・事件データプロジェクト (ACLED) によると、2017 年 1 月から 2 月にかけて、BDK とコンゴの治安部隊との衝突により、「主に」BDK の構成員を中心に数十人が殺害された (2017 年 3 月 11 日付け ACLED)。ヒューマン・ライツ・ウォッチによると、2017 年 1 月と 2 月に、コンゴ中央州とキンシャサにおいて、BDM 構成員に対する「暴力的な取り締まり」が行われ、治安部によって 20 人が殺害された (2017 年 6 月 1 日付けヒューマン・ライツ・ウォッチ)。

複数の情報源によれば、ネ・ムアンダ・ンセミは、2017 年 3 月初めに自宅が包囲された際に、コンゴ当局により逮捕された (2017 年 9 月 4 日付け国連、パラ 15；2017 年 3 月 4 日付けロイター；2017 年 3 月 11 日付け ACLED)。国連によると、[国連英語版]「警察官 1 人と BDM 分子 3 人が殺害され」、警察は「307 名を逮捕し、そのうち 170 名は同日に釈放された」(2017 年 3 月 10 日付け国連、パラ 24)。

複数の情報源によると、ネ・ムアンダ・ンセミは 2017 年 5 月中旬、キンシャサの [マカラ] 刑務所から脱走したが、その際、同人の支持者らが行ったとされる攻撃で、約 50 人から 4,000 人の被収容者が脱走した (2018 年 6 月 20 日付け ACLED；2017 年 9 月 4 日付け国連、パラ 15；2017 年 5 月 18 日付け BBC)。複数の情報源は、この暴力で数十人が殺害されたと報告している (2017 年 5 月 19 日付け The New York Times；2017 年 5 月 18 日付け BBC)。

...

カ CGRS [「COI フォーカス - コンゴ民主共和国 : 政治的な状況」](#) eoi (2019 年 12 月 17 日)

1.1.6. ブンドゥ・ディア・マラヤ (BDM)

...

2017 年 3 月、ムアンダ・ンセミが逮捕された。その 2 ヶ月後の 2017 年 5 月、同人はマカラ刑務所を脱獄し、長期間にわたり身を隠していた。同人は、2019 年 5 月、公の場に再登場し、その際に自国の発展に貢献したい旨を宣言した。同人は再び身柄拘束されたが、すぐに仮釈放された。2019 年 7 月 1 日、ンセミは、フランク・ディオングとディオミ・ンドンガラ [Franck Diongo et Diomi Ndongala] およびほか 2 人のカビラ政権下での他の野党指導者 (フェリックス・チセケディの登場以降、ムアンダ・ンセミと同様に釈放された) と、チセケディ大統領の支援ブロックを形成するために会談した。その 3 日後、ムアンダ・ンセミは「国の発展のために働く決意」を再確認した。2019 年 7 月 18 日には UDPS の事務局長と会い、特に 2017 年の逮捕時に略奪した財産の補償を求めた。同人はまた、出版物「コンゴ・ディオト [Kongo Dioto]」を通して発言を続けている。

4. 2017 年 1 月から 2 月 7 日頃までのバコンゴ州の状況

以下の文書には、特に 2017 年 2 月 7 日の介入につながった状況等が記載されている。

ア ACLED「[紛争トレンド報告 59 号;アフリカの政治的暴力の即時分析](#)」ecoi (2017 年 6 月)

…それ以降、2017 年 1 月下旬にキンペセ [Kimpese] 地区で殺害されたとされるリーダー 1 人の遺体を警察関係者が返還するのを拒否したことから BDK メンバーと警察との間で衝突が発生するまで、ACLED の記録には登場していなかった (2017 年 2 月 3 日付け Radio Okapi)。…

※ 前掲

イ IRBC「[クエリー回答 \[COD106125.FE\] : コンゴ民主共和国 : Bundu dia Kongo \(BDK\) 運動の政治的目標、構造、事務所、メンバーに発行される文書等 ; 政府及びその他の政党との関係 ; 当局によるメンバーの取扱い \(2016 年~2018 年 7 月\)](#)」refworld (2018 年 7 月 20 日)

…武力紛争発生地・事件データプロジェクト (ACLED) によると、2017 年 1 月から 2 月にかけて、BDK とコンゴの治安部隊との衝突により、「主に」BDK の構成員を中心に数十人が殺害された (2017 年 3 月 11 日付け ACLED)。ヒューマン・ライツ・ウォッチによると、2017 年 1 月と 2 月に、コンゴ中央州とキンシャサにおいて、BDM 構成員に対する「暴力的な取り締まり」が行われ、治安部によって 20 人が殺害された (2017 年 6 月 1 日付けヒューマン・ライツ・ウォッチ)。

…

※ 前掲

ウ 記事「[コンゴ : 教団への介入で死者 4 人](#)」Le Figaro (2017 年 2 月 14 日)

今月初めには、南西部のバコンゴ州のキンペゼ [Kimpese] という町で、警察との衝突により少なくとも 8 人の信者が死亡したが、この町は他の地域を蝕んでいるような暴力的な状況にはなっていない。

エ 地域開発支援研修センター (ソングロロ郡)「[ソングロロ郡の人権状況](#)」(2017 年 5 月 16 日)

コンゴ中央州ソングロロ地域の地域人権団体の地域開発支援研修センターのウェブサイトは、2017 年 2 月初めの地域状況について以下の記載をしています。

2 月 3 日 (金) の朝、BDK の信奉者らがロー銀行キンペザ支部 [Rawbank / Kimpese] 前にある市場の道路から、国道 1 号線のキンシャサ-マタディ間を走るために出てき。彼らは、IME - キンペゼ総合医療病院の遺体安置所から、第 3 地区住民であった子どもの遺体を取り出すために、キンペゼの中心部 (駐車場) に向かっていった。同人らは、前回の事件以来、すでに治安当局と対立していたこと

もあり、銀行につめていた PNC [コンゴ国家警察] の隊員が数発発砲した。

一行は何事もなく移動を続けた。同じ頃、銃声が聞こえた PNC の警察署から、銃器で武装したキンシャサの PIR (警察機動隊) 部隊が、BDK の信奉者らとは逆の方向に動き出した。キンペゼ市場において、これら 2 つの集団が顔を合わせた。BDK の信者らに解散を命じた後、彼らが従わなかったため、実弾による銃撃戦となった。虐殺から逃れようとした人々は、PIR キンシャサ部隊の隊員によって、まさに狩りだされた。市場や周辺地域、家屋が搜索された。

なお、治安部隊の中には、PNC の制服を着た地元の隊員や PIR キンシャサ部隊の隊員もいた。おおよその犠牲者数

死者 おおよそ 15 人

重軽傷者 多数

オ [記事「ブンドゥ・ディア・マヤラ内部の主導権争いがコンゴ民主共和国での暴力の原因」RFI \(2017 年 2 月 8 日\)](#)

コンゴ中央州 (旧下コンゴ) の治安状況が憂慮される。先週、キンペゼ [Kimpese] で起きた暴力事件で数人が殺害された。2 月 7 日 (火) には、内務省担当のエマニュエル・ラマザニ・シャダリ [Emmanuelle Ramazani Shadari,] 副首相と州の著名人の代表団がこの案件を調査した。この暴力は、神秘主義宗教のブンドゥ・ディア・コンゴから生まれた政党「ブンドゥ・ディア・マヤラ」の指導者たちの内部抗争の結果だと言われている。

ブンドゥ・ディア・マヤラの代表ムアンダ・ンセミ [Muanda Nsemi] と副代表パピ・マンテゾロ [Papy Mantezolo] は、政府に対する方針でもはや意見が一致していない。前者は、一時的に現政権を支持したものの、何の見返りも得られなかったことに不満を抱いているという。

ムアンダ・ンセミが自分の政党にはふさわしくないとして拒否したにもかかわらず、後者は党を代表して現政権の副大臣を務めることに同意した。

...

参照:

(報告等)

イギリス内務省「出身国情報・主要な情報文書 コンゴ民主共和国 (法務省仮訳)」入管庁ウェブ (2007 年 2 月 14 日)、オンライン:

<https://www.moj.go.jp/isa/content/930002676.pdf>

オランダ外務省「Thematisch ambtsbericht over de politieke ontwikkelingen en de veiligheidssituatie in de Democratische Republiek Congo [コンゴ民主共和国の政治的状況変化と治安状況に関するテーマ別公式報告]」ecoi (2017 年 10 月 17

日)、オンライン: https://www.ecoi.net/en/file/local/1418743/1226_1512125164_tab-drc-31-oktober-2017-def.pdf

カナダ移民難民局 (IRBC) 「Democratic Republic of Congo: The Bundu dia Kongo (BDK) movement, including its political agenda, structure, offices and documents issued to members; relations with the government and with other political parties; treatment of members by the authorities (2016-July 2018)」〔コンゴ民主共和国: 「ブンドゥ・ディア・コンゴ [Bundu dia Kongo]」 (BDK) 運動の政治的目標、構造、事務所、構成員に発行される文書等; 政府及びその他の政党との関係; 当局による構成員の取扱い (2016年~2018年7月)〕 refworld (2018年7月20日)、オンライン: <https://www.refworld.org/type,QUERYRESPONSE,,,5b9b62894,0.html>

_____ . 「Democratic Republic of the Congo: Information on the Bundu dia Kongo (BDK) movement, including its political program, location of its offices, the number of its members, its situation with respect to other political parties, and the attitude of government authorities toward its leaders and members (2007 - April 2011)」〔コンゴ民主共和国: 「ブンドゥ・ディア・コンゴ [Bundu Dia Kongo]」 (BDK) 運動に関する情報 (政治的プログラム、事務所の所在地、構成員数、その他の政党との関係、指導部及び構成員に対する政府当局の姿勢を含む) (2007年~2011年4月)〕 refworld (2011年4月6日)、オンライン: <https://www.refworld.org/docid/4db7c1382.html>

_____ . 「Democratic Republic of Congo (DRC): Information on the nationalist party called Bundu Dia Kongo (BDK), also known as Alliance of Ethnic Kongo, including its leadership, its aims, activities and treatment of its members and associated persons by government authorities (1999-2001)」〔コンゴ民主共和国: 「ブンドゥ・ディア・コンゴ [Bundu Dia Kongo]」 (BDK) (別名「コンゴ民族連盟」と呼ばれる民族主義政党に関する情報 (指導部、目的、活動、構成員および関係者の政府当局による取扱い (1999年~2001年))〕 refworld (2002年2月1日)、オンライン: <https://www.refworld.org/docid/3df4be9a2c.html>

ドイツ連邦移民難民庁 (BAMF) 「Group 22 - Information Centre Asylum and Migration, Briefing Notes [第22群 - 難民移民情報センター短報]」 refworld (2017年5月22日)、オンライン: <https://www.refworld.org/docid/594243164.html>

フランス難民・無国籍庇護局 (OFPRA) 「RDC : Informations sur les exactions imputées au mouvement BDK/BDM et les armes utilisées par ses adeptes」〔コンゴ民主共和国: BDK/BDM 運動に起因する虐待とその支持者が使用した武器に関する情報〕 (2020年4月23日)、オンライン: https://www.ofpra.gouv.fr/sites/default/files/atoms/files/2004_cod_exactions_bdk.pdf

武力紛争発生地・事件データプロジェクト (ACLED) 「Conflict Trends Report No. 59; Real-Time Analysis of African Political Violence」〔紛争トレンド報告59号; アフリカの政治的暴力の即時分析〕 ecoi (2017年6月)、オンライン: https://www.ecoi.net/en/file/local/1403072/3230_1499348168_acled-conflict-trends-

[report-no-59-june-2017-pdf.pdf](#)

_____ 「Conflict Trends Report No. 56; Real-Time Analysis of African Political Violence
〔紛争トレンド報告 56号; アフリカの政治的暴力の即時分析〕 eci (2017年3月)、オンライン:

https://www.eci.net/en/file/local/1397960/3230_1490949387_acled-conflict-trends-report-no-56-march-2017-pdf.pdf

ベルギー難民・無国籍者弁務官事務所資料研究センター (CGRS) 「COI Focus -
Republique Democratique du Congo: Situation politique [COI フォーカス - コンゴ民主共和国: 政治的な状況]」 eci (2019年12月17日)、オンライン:

https://www.eci.net/en/file/local/2021717/COI_Focus_RDC_Situation_politique_2019_1217.pdf

(記事)

Radio France Internationale (RFI) 「Une guerre de leadership au Bundu-di-Mayala
expliquerait les violences en RDC [ブンドゥ・ディア・マヤラ内部の主導権争いが
コンゴ民主共和国での暴力の原因]」 (2017年2月8日)、オンライン:

<https://www.lefigaro.fr/flash-actu/2017/02/14/97001-20170214FILWWW00168-congo-4-morts-dans-l-intervention-contre-une-secte.php>

Le Figaro 「Congo: 4 morts dans l'intervention contre une secte [コンゴ: 教団への介入で死者
4人]」 (2017年2月14日)、オンライン: [https://www.lefigaro.fr/flash-](https://www.lefigaro.fr/flash-actu/2017/02/14/97001-20170214FILWWW00168-congo-4-morts-dans-l-intervention-contre-une-secte.php)

<https://www.lefigaro.fr/flash-actu/2017/02/14/97001-20170214FILWWW00168-congo-4-morts-dans-l-intervention-contre-une-secte.php>

(事例等)

東京地方裁判所平成30年5月25日判決 [平成28(行ウ)548]、TKC判例データベース
東京地方裁判所平成27年8月28日判決 [平成25(行ウ)237ほか]、裁判所ウェブ、
オンライン: https://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/detail5?id=85553

東京地方裁判所平成26年7月25日判決 [平成25(行ウ)277]、TKC判例データベース
東京地方裁判所平成26年6月13日判決 [平成25(行ウ)275]、TKC判例データベース
明治学院大学国際平和研究所『PRIME Occasional Papers 3号 - 「難民」とは誰のこと
か - 難民認定を巡るマッサンバさんと私たちの闘いの記録-』 (2016年3月31日)

(その他)

地域開発支援研修センター (ソングロロ郡) 「Etat des droits humains dans le territoire de
Songololo [ソングロロ郡の人権状況]」 (2017年5月16日)、オンライン:

<http://crafod.org/etat-des-droits-humains-dans-le-territoire-de-songololo/>

ブンドゥ・ディア・コンゴ、ウェブサイト (2020 年 8 月 11 日時点)、web.archive.org、
オンライン: <http://web.archive.org/web/20200811093104/http://bundu-dia-kongo.org/>
ブンドゥ・ディア・マヤラ、ウェブサイト: <http://www.bundudiamayala.net/>